

2015年5月29日

# 横浜市立青葉台中学校 学校だより 自由と規律 - 6月号

Tel 983-1062 Fax 983-7103

E-mail : [y2aobadai@edu.city.yokohama.jp](mailto:y2aobadai@edu.city.yokohama.jp)

発行者： 青葉台中学校 校長 脇山 幸之

毎月テーマを決めて、書いていきます。今月は “真のストリートスマートとは” です。

しきりに、私は、このストリートスマートということ、言っています。私は本当に今日本に必要な人材はどの世代でも、この概念をもつ人と固く信じています。近い将来こういう人で日本が埋め尽くされれば、何と幸せでしょうか？ 夢想してしまいます。今月は事例を出して、お話を深めていきたいと思えます。

再度復習しましょう。ストリートスマートの意味を。それは「学歴が高いわけでもなく学業で特に成績が高いわけではない。でも知恵を持っており発想力・創造力に富んでおり、実務ができ実行力がある人。そして、多くの人や情報を知っておりそれをうまく活用でき成果を出す人。自分で何が課題かを考えながら、同時に解決しながら行動できる人。」

つまり、現状を把握し、今をどうすれば最善に進めることができるかを、自分または仲間と一緒に、課題を見つけ、それを解決していく努力ができる人です。

どういう人が、そういう人なのでしょう？ 例を挙げてみましょう。皆さんはどんな人がそうなのかと、思われますか？ 考えていただきたいと思えます。私が考える人は、例えば、トム・ハンクスの映画で有名になったアポロ13号の事件（1970年4月）。大事故にもかかわらず、3人の宇宙飛行士を地球に無事に帰還させた当事者の宇宙飛行士J・A・ラヴェル船長たち3名と地上のNASAの人たち。この地球帰還への対応は宇宙船と地上のコントロールセンターとの連携プレーの知恵を尽くした見事なものであったとおもいます。

もう一つの例を最近の出来事から。それは、2010年8月にチリのサンホセ鉱山で起きた落盤事故。落盤によって地下約700mの坑道に33人の作業員が閉じ込められましたが、69日ぶりに全員が奇跡の生還を果たしました。事故直後は、全員絶望かと考えられていましたが、小さい可能性を一つ一つあたり、結果救出に成功しました。この生還の立役者は、まずセバスティアン・ピニェラ大統領です。救おうと信じて優先して、万難を排しました。2人目は閉じ込められた作業員の1人、ルイス・ウルスアさんです。彼は救出されることを信じて、仲間を強いリーダーシップで束ね、パニック状態になっている仲間を激励し、ルールを決めて統率し、結果として全員が生還できました。彼はチームをつくって役割を分担し規律を決めて、しっかりそれを全員が保ちつづけました。これらは全員がストリートスマートとなり、連携プレーをしっかり行い、勇気をもって自ら行動し、全員ですすめて行き、助かった事例なのだと思います。

このような人は、総合判断力を持っており、冷静に考える力(思考力)をもっています。その上コミュニケーション力をフルに活用して、全員の力を結集してピンチを切り抜けることができたのです。私もこういう人になりたいと思っています。こういう人に一人でも多くなって、活動をして頂きたい。そしてこの青葉台中の生徒が一人でも多く真にこういう人になってほしい。皆さんはどう思われますか？ だれも否定する方はおられないと思えます。ではどうすればそうなれるのかを、引き続き考えていきましょう。現在の中学生、小学生が世の中で活躍するときは、2030-2050頃です。その時日本の人口は8-9000万人と減っており現在の社会が持続していない、想像のつかない社会構造になっています。その時代を生き抜くためには、ここでお伝えしているストリートスマートになっていないと、かなり苦しいと思えます。是非努力していきたいと思えます。

○ このコーナーではいろんな数字(データ)を記載、その数字を見て考えていただきたいのです。

さーどうしましょうか？

今年の横浜の教育予算(H27年度)について、お知らせいたします。横浜の教育予算について皆さんにも知っていただきたくこういうことを掲載しました。これが今年の実績です。これを見て思うこと。①全国では平均的なレベル②平成20年度近辺の全体に占める%の低さが解消しつつある。③昨年より6.3%増加した等が特徴となるのでしょうか？ 内容としては、国際都市横浜の次世代を担うグローバル人材の育成や教師の子どもと向き合う時間確保、教師力向上などを重点にしていくようです。皆さんはこれらを見てどうお考えになりますか？

1. 全体予算 横浜市の予算 対昨年(%増)の順

2013	2014	2015
1兆3986億円	1兆4182億円	1兆4955億円
—	196億 1.4%	773億 5.4%

2. 教育予算

2013年	2014	2015
862億円	883億円	939億
—	21億 2.5%	56億 6.3%

3-1 内訳 年度ごと

	2014年予算		2015年予算	
	金額(億円)	全体比(%)	金額(億円)	全体比(%)
健康福祉局	4,183	29.5	4,322	28.9
子ども青年局	2,279	16.1	2,433	16.3
財政局	2,141	15.1	2,102	14.1
教育委員会	883	6.2	939	6.3
環境創造局	832	5.9	826	5.5
道路局	669	4.7	889	5.9
経済局	542	3.8	—	—
市民局	—	—	568	3.8
その他	2,654	18.7	2,876	19.2

3-2 横浜の教育費のトレンド(全予算に対し)

平成16-18年:約7%、平成19-23年:約5.6-6.0%、平成24-27年:約6.2-6.4%

3-3 各政令指定都市との比較(全体に占める大体の教育費の率) (横浜市 6.3%)

神戸 8.4%、川崎 8.1%、相模原 7.6%、福岡、名古屋、京都 6.0-6.1%、札幌 5.5%、大阪 4.9%など

4 予算設定を行うにあたっての考え方(横浜市)

2015年 ①日々の努力と挑戦が横浜を輝かせる ②スポーツと文化の祭典である2020年オリンピック・パラリンピック東京大会の開催を契機とした取り組みを始める ③オール横浜で計画を実現する ④おもてなしの心を磨き「人」の力を結集する。

因みに 2014年 ①原点にたちかえって更なる進化を ②既成概念を打ち破る取り組みを ③暮らしやすさを実感できるまち ④働きやすく成長できる職場作りを

5 児童生徒一人当りの教育予算

2014年	2015年
320,157円	345,353円

6 学校運営費

昨年度と同じ程度の予算の確保 一校あたりの配当平均(見込み平均額) 学校規模に応じた違いあり。

小:約1000万円、中:約1500万円、高:約1900万円、特別支援学校:約1700万円

7 施策 教育委員会の重点プログラム

① 国際都市横浜の時代を担うグローバル人材の育成

+世界に羽ばたく人材の育成、+英語と親しむコミュニケーション能力の向上、+健やかな子供の成長、+2020年オリンピック・パラリンピック東京大会の開催を契機とした取り組み

② 子どもと向き合う時間の確保: +教職員の負担軽減、+仕事の仕方の見直し

③ 教員の人材育成による教師力の向上

④ 学校生活のきめ細かな支援

⑤ 安全・安心な教育環境の整備

○ 修学旅行、自然教室、足柄PA校外学習に各学年がいってきました。

3年生は、5月8、9、10日と奈良、京都に伝統・文化を学ぶ目的で行きました。京都にとって、関東からの修学旅行としては第1陣の到着になったようで、京都駅では歓迎セレモニーが行われ、一部京都NHKのローカルニュースでも放送されました。おまけに割り当てられた車両はグリーン車で得した気分でした。すぐ奈良大仏殿に行き、天平の時代の聖武天皇の心意気を感じ、妙心寺で座禅に挑戦して、お坊さんの法話を聞きました。中学生の時代はチャレンジしてどんどん失敗しろ、しかし、そのリカバーをどうするかを必死で考えとありました。入学式で私が言ったことと奇しくも同じでした。再度みんなに認識してもらいたいです。2日目は班別自由行動で思い思いの場所を仲間とともに訪ね、長い歴史に裏打ちされた京都を味わいました。夜のレクではしっかり準備された活動を満喫することができました。みんなの集中力に感動しました。3日目はクラスごとにバスで京都の最終日を楽しみました。1000年の都の秘密を探し当てられたのでしょうか?

2年生は19-21日戸隠に行き、自然の中でしか味わえない活動、真っ暗の中のナイトウオーク、田植え、山登り、戸隠神社を中心とした戸隠探訪を、ハイキングを兼ねて行いました。ここでも夜のレクタイムはしっかり準備されていて感動しました。次々と行う活動にタフな体と精神で取り組み、満喫した人が多く見受けられました。

1年生は22日足柄まで行き、クラス単位で仲間と活動しました。五感をうい仲間との真の協力の仕方などを学びました。初めはごちなく取り組んでいた各種活動も、午後からは指導の方々とも打ち解けて、気さくに集中してやっていました。本当に日頃の学校生活においても応用できることを期待しています。

各生徒たちが一瞬ではありますが、家庭から離れて、仲間たちだけで送った時間がこのようにありました。自分たちは、少しは変わったのでしょうか? また、ご家庭での子どもたちは、少しは変容しましたのでしょうか? またお知らせください。

○ 教育課程説明会が5月14日開催されました。

15時から体育館にて、本年の本校の学校の方針や教育課程、評価評定の説明を行いました。現在は絶対評価の扱いになっており、観点別の評価を、設定した目標に従って行っていくことになっています。これが最重要点で、定期テスト等でいくら高得点をとってもそれだけで良い評価はされないことを理解していただきたい。日頃の勉強態度、提出物のきちんとした扱い等が大変重要になってくることをご理解くださいと説明いたしました。

青葉台中生は横浜市の学習状況調査では項目ごとに10-20ポイント高い成果を出しています。しかも経年変化で学年が進むにつれて、少しずつではありますが成績や意欲は良くなっていることが確認されていますとグラフを提示しておこないました。この勢いをさらにみんなの力で進めていきましょう。

#### ○ 青葉区PTA連絡協議会総会が開催されました 5月27日

5月27日青葉区役所で総会が開かれました。昨年の活動、決算を承認して、新役員を選出して、今年への取り組みを参加者全員で確認、承認しました。横浜市では、今年秋に、関東ブロックのPTA研究会が開催されることになっており、多くの方の参加が要請されていました。単Pでも、区P連の活動でも、子どもたちが有意義な時間を送れるような活動を実現できるようにやって行きましょう。

#### ○ 海外児童日本体験プログラムの国内部分が終わりました。

4月29日：いよいよ海外からの生徒たちと取り組んできたプログラムの終わりになりました。この日代々木のオリンピックセンターで送別会がありました。みんな準備してきたプログラムも順調に進みました。

18日歓迎会、22日青葉台中訪問、23日のホームステイ、4月24-26日全員で河口湖にて合宿交流。和気あいあいと交流していました。どの場面でも、このプログラムの素晴らしさに触れました。普通海外の人との交流時の言語は、基本が英語になりますが、今回はそれが日本語でした。子供たちの交流の様子とこの使用言語のことで、僕自身がとにかく新鮮でとても感動しました。

**\* 部活動などで頑張る生徒たち（敬称略）** 朝会等で表彰させていただいた分を紹介します！

おめでとうございます。

+ バドミントン部 青葉区学年別大会3年の部 男子シングルス第3位 小野 竜希

#### \* 生徒会の活動

\* 4月半ば、生徒朝会にて、生徒会長から各委員会の代表者に、委嘱状が手渡され、いよいよ生徒会活動、委員会活動が始まりました。

\* 5月連休明けは、朝の登校時にあいさつ運動を行いました。

\* 6月4日の生徒総会へ向けて議案書の検討等行っています。

このコーナーでは 毎回、生徒会の動きを紹介いたします。

#### \* PTA、部活動振興会 の活動

**PTA**：総会が、5月25日開催されました。昨年度の活動報告、決算、そして新年度の活動計画、予算の議論と承認が行われました。各委員会のメンバーが紹介されました。今年度のPTAスローガンも採択されました。

【青中に行こう！ 知ろう！ 楽しもう！ 子どもの笑顔のために！】

皆で実現に向かって努力いたしましょう！ よろしく願いいたします。

既に決定されていますが、改めまして本年度の役員を紹介させていただきます。1年間よろしく願いいたします。

#### **PTAの役員**（敬称略）

会長：工藤祐子、 副会長：矢倉真里子・渡部清美、 書記：岩元ますみ、 会計：赤尾智子、

市PTA連絡協議会常置委員：平井由佳、 会計監査：河口里絵・光本沙織。

**部活動振興会**： PTA総会の後、総会が開催され、昨年の決算、新年度の予算案が議論され、承認されました。

そして各部の顧問の先生と理事の紹介が行われました。1年間よろしく願いいたします。

**部振の役員のご紹介です。** 先月号で会計監査、相談役が掲載されていませんでした。

会計監査：土肥真理子、野津倫子、 相談役：赤尾智子、奥山浩美（敬称略）

このコーナーでは 毎回、このようにPTA、部活動振興会の主な動きを紹介いたします。

次のページに最新の予定を掲載します。参考になさってください。